

第4回新市庁舎のあり方に関する市民会議 (概要報告)

日時	令和4年10月1日(土) 午後1時30分～4時30分
場所	盛岡市勤労福祉会館大ホール
参加者	23人
テーマ	求められる市庁舎のかたちを考えよう ～市庁舎に求められる立地条件と ふさわしいエリアとは～
アドバイザー	岩手大学理工学部教授 南 正昭さん
ファシリテーター	ネクステージ 代表 大高 智佳子さん 株式会社赤澤号 赤澤 徳俊さん

「第4回新市庁舎のあり方に関する市民会議」が、10月1日(土)に開催されました。

23人の皆さんの参加をいただき、「求められる市庁舎のかたちを考えよう～市庁舎に求められる立地条件とふさわしいエリアとは～」をテーマに、活発な意見交換が行われました。

市民会議は、11月まで計6回の会議を予定しており、第5回は、10月29日(土)に開催予定です。

第4回市民会議の概要をお知らせします。

市民会議の趣旨

盛岡市役所の本庁舎は、建設後60年を経過して老朽化が進むなど、新市庁舎のあり方を考えていかなければならない時期にきています。今後、庁舎の課題や希望について広く市民の皆さんの意見を伺いながら検討を進めるため、市民会議を開催することとしました。

市民会議は、ワークショップ形式で意見を出し合い、新しい市庁舎のあり方や希望などを整理します。結論を導き出すことを目的とはせず、さまざまな可能性を広く考えます。ここで整理された意見などは「有識者等懇話会」で発表する予定としています。

1 会議ルール説明

ファシリテーターの大高さんから、会議の進め方やルールを説明した後、各グループ内で自己紹介をし、役割分担(進行係、発表係、記録係など)をしました。

また、会議のルールとして、相手の意見を否定することなく、互いの意見を尊重しあうことを確認しました。



(アドバイザー南さん)



(ファシリテーター大高さん)



(ファシリテーター赤澤さん)

2 グループワーク

初めに、個人ワークとして、「私が市長なら、すべての市民のためにどのような場所に市庁舎を建設するか、市庁舎に求められる立地条件」を付箋に書き出しました。その後、書き出した付箋を模造紙に貼り付けながら、グループ内で自身の考えを紹介し、意見交換を行いました。



3 発表

話しあったことをグループごとに発表しました。

各グループでは、市庁舎に求められる立地条件として、防災拠点となる場所、交通の便が良い場所、近隣の建物との調和が保たれる場所、子どもや老人、体の不自由な方にも優しい場所、200年後に中心地となる場所などの具体的な提案がありました。各グループの発表内容は、次ページ以降に掲載しています。



4 事務局説明

事務局から、新市庁舎構想検討会議報告書に記載している整備エリアの考察の内容について説明しました。

5 個人ワーク（アンケート）

各グループの発表と事務局説明をふまえ、新市庁舎を整備するのにふさわしいエリア及びその理由について、アンケート形式で記入しました。参加者の意見は8ページに掲載しています。

◆各グループの発表内容

【1班】

〈防災〉

防災拠点となるところ/岩手山噴火時の降灰リスクがないところ/大規模地震に強い・硬い地層のあるところ/通信インフラに強いところ/できればハザードマップから外れたところ/洪水想定区域は避けたい/地盤がしっかりしている

〈環境〉

日当たりが良い/盛岡の良さが発信されること (人) /岩手山がキレイに見える/観光できる場所に近い/盛岡の良さが見えること (文化) /シンボルとして絵になるところ/近隣に公園がある (子どもが行く気になる)

〈ヒト〉

人の行き来がある場所/いろいろな文化・価値観が交わる場所/人が集まって心が豊かになれる場所/初めて来庁される方にも分かりやすい場所 (埋もれない) /人に優しいところ (ハード&ソフト) /交流人口増が見込まれる場所/世代間交流ができる場所/盛岡市の人口重心点に近い場所/人が集まりやすい場所/盛岡に転入した人がすぐに分かる場所/集う人をいやしてくれる自然環境のある場所/盛岡市の人口集中地区 (D I D) 内の重心点に近い場所/庁舎で働く方のアフター5を受けて止めてくれる場所/庁舎が来ることで賑わいを創出できる余裕のある場所

〈交通〉

交通利便性の立地条件比較 (鉄道・バス・道路) /公共交通機関などアクセスが便利/交通の便が良いところ/徒歩・自転車・バス・車など様々な手段で行きやすい/広い駐車場を確保できる/ (大型) 駐車場完備/バスで行きやすい/音が出る交差点/歩行者優先の交差点/駐車スペースが十分に確保できるだけの敷地が用意できること/道路のアクセスが良い/バスのアクセスが良い/見通しが良い交差点/大学から歩いて意見 (徒歩30~40分) /道路が広い場所/庁舎間の道路は広い方が良い/駅の近く/駅から歩いて行ける (徒歩30~40分) /他の公的な建物が近い/関連庁舎から離れすぎない

〈その他〉

市民会議で出た立地条件を各班で数多く選択して3地区の比較で点数化する/現市庁舎周辺の既得権益関係を立地条件としては考慮しない



◆各グループの発表内容

【2班】

〈アクセス〉

公共交通機関でのアクセスが良い/交通の便の良い場所/アクセス良好/電車で行きやすい/バスで行きやすい/タクシーで行きやすい/車で行きやすい/自転車で行きやすい/盛岡バスセンターから近いところ/国道から近いところ/渋滞しない/市役所の職員が通勤しやすいところ/庁舎間移動しやすい/平地にある/(可能なものは) デジタル空間/駐車場に車を駐車して歩いて市街地散策できるところ/(車移動を前提とするなら) 駐車場確保可能/駐車スペースを多く設けられる(広い土地)

〈土地と金〉

約2ヘクタールある場所/広い土地/土地の取得がしやすい/隣の土地に空き地がある所(追加で施設を建てる場合にスムーズ)/お金のあまりかからないところ/今所有している市有地からまずは検討を/ランニングコストが低い/今後の利用法が決まっていないところ/(経済的観点から) 基盤が大きく変わらないところ

〈安全・安心〉

避難所としても利用できる場所/自然災害に強い/岩盤的には内丸エリアは強度が強い/自然災害に強い/氾濫危険エリアにない

〈シンボル〉

分かりやすい/皆が知っているところ/目立つ

〈自然と共生〉

山から市街地が一望できる場所/人々が行きたくなる魅力的な場所/自然環境の良い場所/自然を感じられるところ

〈中心市街地〉

周囲の発展性/周辺施設との連携/盛岡の人口重心に近い/市街地維持継続出来る場所/近くに商店がある/市街地から程近い小高い山の周辺/観光事業としてもよい場所/仕事の的に集約しやすいエリア/市街地を包括的に実感できる場所/市街地が潤うようなところ

〈その他〉

風水的によいところ



◆各グループの発表内容

【3班】

〈わかりやすい〉

誰もが知っている場所/市民が分かりやすいところ/他世代が多様に行ける場所（交通も含め）/子供・老人が行きやすい場所（段差等）/多くの市民が賛成（民意）できるエリア・位置/誰でも行きやすいところ/子・高齢者の方も行きやすいところ/市民にアンケート調査したらどうでしょうか？

〈目印〉

観光客・県外の人に来て分かりやすいところ/市の観光拠点の目玉となる場所/他県の人から分かりやすい場所

〈利便性〉

車でのアクセスが良い/公共交通の整備がされているエリア/駐車場の面積が広くとれる場所/駐車場を広くとれる場所/職員が通いやすい場所/職員も通勤が便利なところ/バスなど路線の多い場所/市役所と通ずるアクセス・道路の整備/公共交通機関のアクセス（市⇄住民）/徒歩や自転車でも行ける場所/自家用車に頼らずアクセスしやすいエリア/都南地区・玉山地区からも移動に便利なエリア

〈安全〉

災害時に避難できる場所/安全がなるべく確保しやすいエリア/災害がないところ（水害・地震）/洪水浸水想定区域外（防災上）/防災機関と連携がとりやすいエリア/土砂災害警戒区域外/他の防災施設も近場にある（消防・警察・病院など）

〈自然共生〉

庁舎の周りも一緒に作り上げられる場所（これからの未来に向けて）/緑がある場所（公園・森林・河川など）/歴史的な建物や風景を壊さない（マッチする）/敷地いっぱいではなく余白から生み出せるようなエリア/盛岡城跡公園（森・川）/近隣の建物を圧迫せず調和できるエリア

〈財源〉

県との複合施設/土地取得費用がかからない（取り壊し等含めて）/国・県の側（官庁街）/市所有地のあるエリア（土地取得費用無し）/建築費が抑えられる（合築なども可能な場所）

〈官公庁との連携〉

町から離れていない（例：八幡平市・山形市）/中心市街地の空洞化につながらないようなエリア/県庁所在地（中心的なところ）中心街から離れていない/県庁や各役所から離れていないところ/繁華街など買い物にも便利



◆各グループの発表内容

【4班】

〈交通〉

交通の利便性/盛岡駅から車無しでも行ける/車の便利さ/歩行者の便利さ/子ども・老人・体の不自由な方達に優しい場所/新たに公共交通等のインフラ投資が必要ない場所/車がなくても来ることができる（公共交通がしっかりしている場所）/駐車場が過度に大きい必要はない

〈シンボル性〉

古くからある場所（新しいところにつくるのでない）/他県・他市の人が（イメージ）分かりやすい場所/（コンパクトシティを目指すのであれば）郊外型より中心部型/市民のほとんどが知っている、分かる場所/市民の多くの人々が来やすい場所/若い人たちが集まりやすい場所/（まちの軸となるので）50年100年先に盛岡の中心となる（する）場所/優れた多くの日本人建築家も世界の都市デザインや都市の設計に参加されている。世界的に開かれた発想やアイデアが必要

〈安全性〉

安全性/災害を防ぐのではなく災害にあってもすぐ復興できるもの/災害に強いと思われる場所（特に水害）/駅西と現在地を比較した浸水想定区域との度合い、レベルに差はあるのか知りたい/盛南地区に候補地はありますか。

〈利益を創る〉

多目的ビル/近くに買い物をする場所がある/くつろげる・遊べる・用が足せる/買い物や休憩もついでにできる場所/市民が分かりやすい場所/建物から収入（利益）をあげられる施設/100億円以上の建築費を有効となるような未来への贈り物/全てが新しい時代・新しい発想とアイデアの原点となり得る機会として欲しい

〈何を創るか〉

広さと低層の広がり？/今の市役所に足りないところは何だろう？/入ってくる人を増やすまちづくり/子どもの夢=子育てしやすいまち/今後の市の発展（子育てしやすいまちづくり）/長崎シテスタジアムプロジェクト/明石市を参考にしてほしい

〈何を創るか〉

根拠のない曖昧な盛岡らしさ等には縛られない自由な発想が必要、出発点となること/首都機能移転の受け皿となり得る未来都市を想定する/将来の市町村合併を想定した発展軸を考える/岩手の県都として理想的な位置/県都として発展的条件をリードすべき場所（県民の利便性も考慮されるべき



※5班は、グループ編成上欠班としました。

◆各グループの発表内容

【6班】

〈周辺施設〉

高さ制限（周りより高い）/人口減少・DX導入を考えれば大きい建物、広い駐車場は必要か？/駐車場用地が確保できる場所/噴水のある（見える）/開けた場所/市役所自体に用事がなくても気軽に立ち寄れるような公園・広場/駐車場が十分にある/広場・花いっぱい/パレードの出発地（さんさ・マラソンなど）/産業も少なく中心部の賑わいこそ必要不可欠なのは/花火を打ち上げられる/雪まつり滑り台/市民が集まれるイベント・祭り/時間を感じられる（街のオンとオフ）/雪像

〈景観〉

200年後に中心地/どこからも見える（「あそこ」と指させる）/市内を見渡せる小高い場所/サケの上る川/森の中・低い木々の中心/景観が良い場所/景色の良い場所/利便性・周囲の環境良い場所/岩手山が見える/自然のある場所/日差しがある場所/銀行本店、各官庁それぞれが揃う中央通りは守っていただきたい

〈安全〉

洪水浸水想定区域は避けたい（もしくは十分な対策が出来る場所）/安全で安心なエリア

〈グリーン〉

電動自転車/駐車場から遠いエコロジー/馬車

〈公共交通〉

公共交通機関が整っている/公共交通機関がアクセスできる場所/公務に迅速に行ける・来れる/どんな交通条件でも行ける

〈人口とにぎわい〉

人口密度の高い場所（住人などの）/分庁舎とバランスが良いエリア（時間や距離）/人が多く常に賑わいのある場所

〈他県の事例〉

狭く、古くは今の立地では不可能か可能にする方法/他県での建替後の様子も知りたい



【アンケート項目】

問1 新市庁舎を整備するのにふさわしいエリアはどこですか。番号に○を付け、あなたの考えをお聞かせください（複数回答可）

1 内丸エリア 2 盛岡駅西エリア 3 盛南エリア 4 その他

問2 問1で回答した理由をお聞かせください。

【個人ワーク（アンケート）による主な意見】

1 内丸エリアとした理由

- ・他の官公庁に近い。（国や県などと連携がとれる。他機関との合築が可能。官公庁街として市民が慣れ親しんだ場所）
- ・盛岡城跡を中心に歴史・文化を次世代に繋ぐ。
- ・公共交通網によるアクセスに優れている。
- ・市中心地から移動するデメリットが大きい。
- ・市民、観光客、市外からの来庁者に利便性がある。
- ・古くからの政治、経済の中心である。
- ・周囲の緑豊かな環境などがある。
- ・防災面で比較的安全性が高い。

2 盛岡駅西エリアとした理由

- ・交通の利便性（鉄道・バスの利便、都南地域や玉山地域からも利便性がある。鉄道を含めた公共交通を中心とするまちづくりができる。他県からの移住者にも分かりやすく、手続きで利用しやすい。多くの市民が憩い、職員も通勤しやすい。）
- ・消防本部が近く防災上もメリットがある。
- ・市有地があり、整備スケジュールがたてやすい。
- ・用地取得のための財政負担が小さい。
- ・ゆとりのある敷地にゆとりのある空間を生みながら整備できる。
- ・新幹線や駅から見え、北東北拠点都市としてシンボルになる。
- ・市街地の人口重心に近く、盛岡の中心のイメージ
- ・西口に賑わいをもたらし、都市のイメージアップになる。

3 盛南エリアとした理由

- ・新たな都市の発展軸となる。
- ・過去の価値観に束縛されず、自由な発想、アイデアが展開できる。
- ・県都として岩手の未来的発展が可能となる。

4 その他

- ・市営野球場用地（市街地からほど近く、市街地の維持継続ができる。）
- ・小高く広い場所（100年後の中心になる場所）
- ・盛岡城跡公園エリア
- ・他の市有地
- ・県庁との複合施設として、駐車場なども合わせて整備できるエリア

6 アドバイザー講評

各グループの発表について、アドバイザーの南さんから講評をいただきました。

1班：環境、交通といった共通の課題を挙げながらも、「人」を中心に考えていたのが印象的でした。人が集うことや心豊かになること、文化が交わる場所など、市庁舎の立地条件を超えた「市役所のあり方」を示していただきました。

2班：市庁舎へのアクセスの大事さを強調されていました。やはり欠かせない条件であり、自転車を含め、自動車や公共交通は大切だということを再認識させられました。

3班：「安全」というワードを軸に、災害時の避難や誰にとっても行きやすく、あらゆる人に配慮した場所がよいということを強調されていました。また、新たな市役所の位置によって、自然との共生や人々が訪れることなど、大きな可能性が膨らむことを示していました。

4班：交通や安全性といったことを挙げつつも、シンボル性という提案が印象的でした。市役所は市の顔になりますので、皆さんが市役所と言ってすぐに分かるような場所であることも大事なことだと思います。

6班：市庁舎の周辺空間のゆとり、文化、人が心豊かになれる所といった周辺環境のことを強調されていました。また、DXなど時代の変化により、今後人が離れる可能性がある中でも、親しみの持てるような市役所を作りたいというご提案でした。

個人ワーク：それぞれの視点で提案いただいたすべてが大切なことです。アクセス性や土地の取得、コスト面、シンボル性の話など市全体のバランスを考えて、それぞれの意見をいただきました。最後は一つに絞られますが、皆さんが参画し、出された一つ一つのご意見やキーワードは、次のステージに引き継がれ、新市庁舎整備に生かされます。参画された皆さんに感謝したいと思います。

